

トビウオ通信 (R元第8号)

http://www.pref.shimane.lg.jp/suigi/ (TEL 0855-22-1720)

《令和元年秋季におけるケンサキイカ漁況予報》

山陰沿岸での秋季(9~12月)におけるケンサキイカの漁況は、①日本海南西海域における資源・来遊状況、②高水温帯の分布状況が大きく関わっていることが知られています。それらの情報を基に、県内各地におけるケンサキイカの漁況予測を行いました。

漁況予報の概要

対象魚種: 秋季未熟群ケンサキイカ(秋季: 9~12月)

対象漁業: イカ釣り漁業(5t未満船、5~30t船)

対象地区: 出雲地区(松江~出雲)、石見地区(大田~益田)、隠岐地区(西郷)

漁況予測: 出雲地区の1日1隻当りの漁獲量は、前年を下回る

: 石見地区の1日1隻当りの漁獲量は、前年並み

: 隠岐地区の1日1隻当りの漁獲量は、前年を下回る

予測に用いた情報

【① 日本海南西海域における資源・来遊状況】

・ 秋季に山陰沿岸に来遊するケンサキイカ(秋季未熟群)は日本海南西海域の大陸棚上に広範囲に分布している。(図1)

・ 夏季(8月)に九州から山口沖で浜田沖底により漁獲されるケンサキイカは、秋季に沿岸域に来遊する前段階での資源と考えられる(図2)。

秋季に沿岸域に来遊

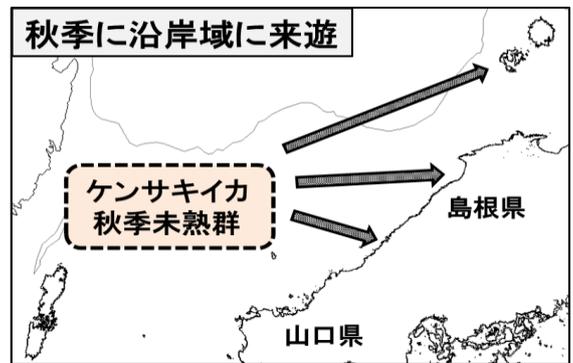


図1: 秋季におけるケンサキイカの来遊イメージ。大陸棚上に分布していたケンサキイカは秋季に沿岸に来遊する。

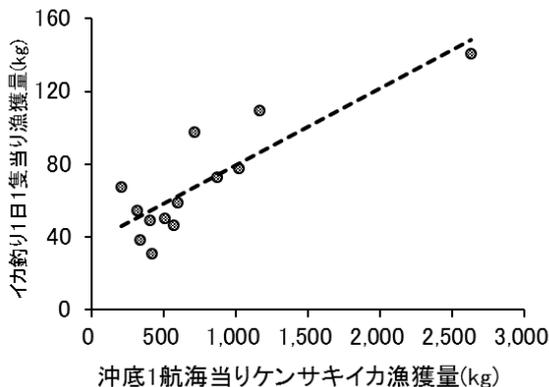


図2: 沖底指標値とイカ釣り漁獲状況(出雲地区)との関係性。沖底で漁獲されるケンサキイカの量が多いとイカ釣りの漁獲量が多い関係にある。

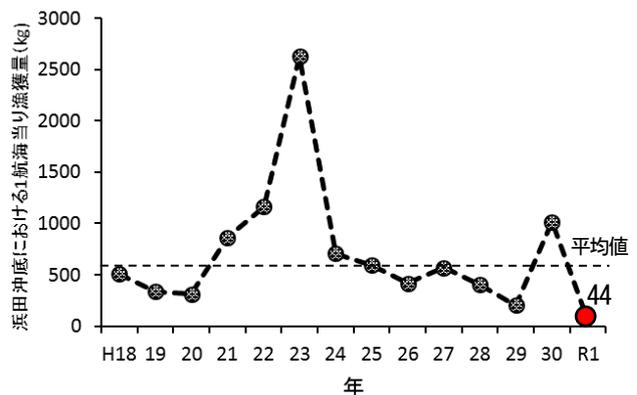


図3: 浜田沖底における1航海当りケンサキイカ漁獲量の推移

そこで、8月時点での浜田沖底における1航海当りのケンサキイカ漁獲量から秋季の資源・来遊状況を予測した。

・令和元年の漁獲量は44kg(図3)で、平年値522kgを大きく下回ることから、令和元年の資源・来遊状況は非常に少ない状況にあると考えられる。

※平年値は直近5年平均

【② 高水温帯の分布状況】

・ケンサキイカは暖水域を好むイカ類であり、特に秋季では山陰沿岸の水深100m層に21℃以上の高水温帯(図4)が広範囲に広がる場合、山陰沿岸ではケンサキイカの良好な漁場が形成されるが、水温が21℃を下回ると不漁となる傾向が見られる。

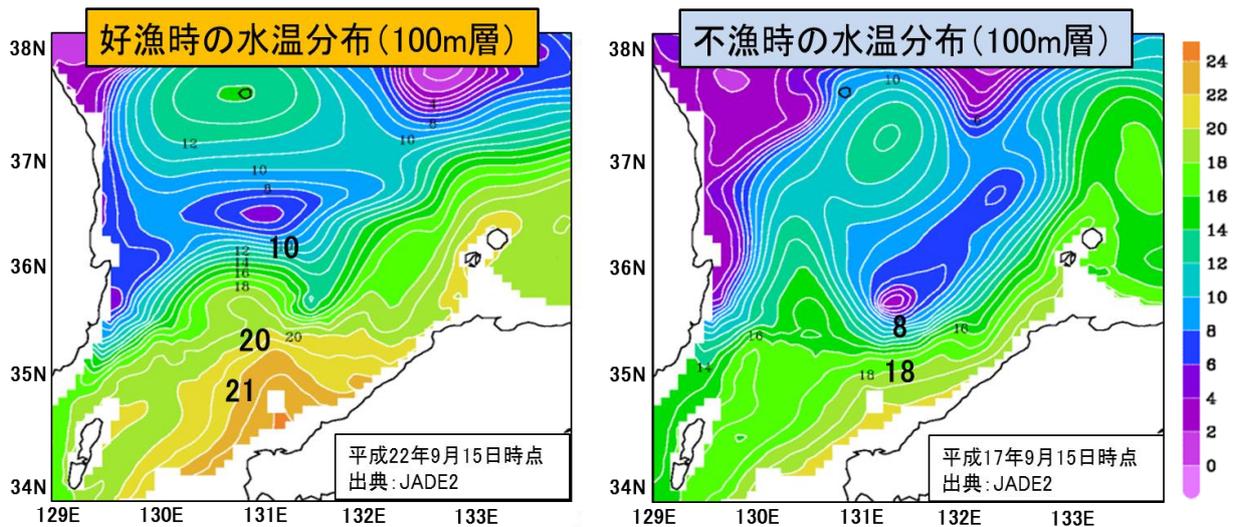


図4: ケンサキイカが好漁時と不漁時の水温分布(100m層)の比較。好漁時(左図)には、沿岸に高水温帯が広範囲に広がる。

・令和元年の秋季の水温分布を見ると島根県沿岸には21℃以上の高水温帯の広がりが見られないことから(図5)、良好な漁場の形成は少ないと思われる。

※使用データ(拡張版日本海海況予測システム JADE2)

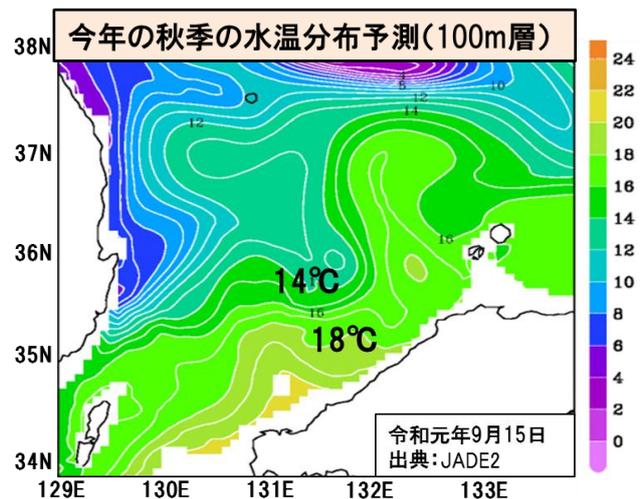


図5: 令和元年の秋季の水温分布の予測(100m層)

漁況予報

これら①、②のデータから各地区の沿岸イカ釣り漁業の1日1隻当りの漁獲量を予測した(図6)。

イカ釣り漁業(5t未満船、5~30t船)

【出雲地区(松江~出雲)】

対象期間: 令和元年9~12月

漁況予測: 1日1隻当りの漁獲量は約40kgで前年を下回る。

【石見地区(大田~益田)】

対象期間: 令和元年9~12月

漁況予測: 1日1隻当りの漁獲量は約70kgで前年並み。

【隠岐地区(西郷)】

対象期間: 令和元年9~12月

漁況予測: 1日1隻当りの漁獲量は約40kgで前年を下回る。

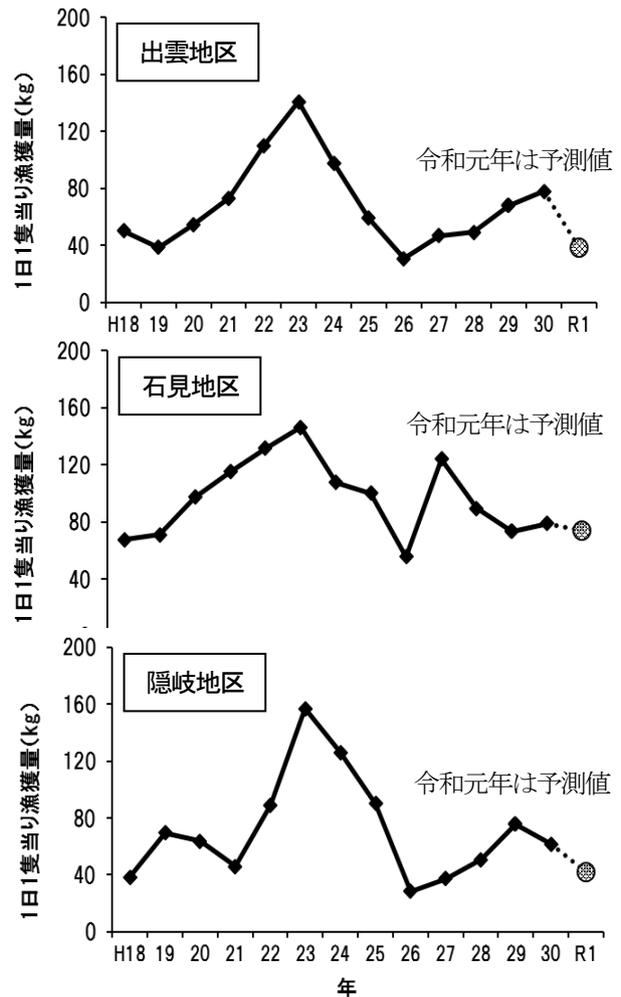


図6: イカ釣り漁業における1日1隻当り漁獲量(9-12月)の年推移。